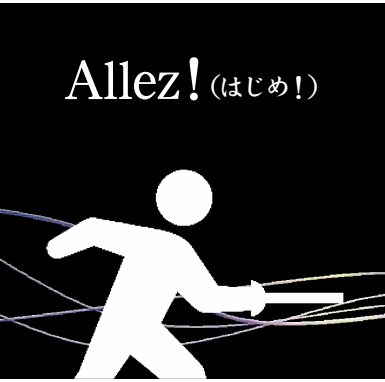


四日市市議会だより

2月定例会議会号 (題字協力 四日市四郷高校書道部)



海星高校
フェンシング部



高校生 × 市議会

刹那の頭脳戦

伝統あるフェンシング部と意見交換



市議会HP
情報発信中!

2月定例月議会の概要

令和4年2月定例月議会の議会期間は、2月9日から3月24日までの44日間でした。

令和4年度の一般会計、特別会計および企業会計の当初予算など、市長から提案された57議案を審議し、55議案を原案のとおり可決し、2件の人事案件に同意しました。これらの議案のうち、議案第73号令和4年度一般会計予算については、「私立保育園・こども園正規職員の給与改善補助、保育体制の強化、保育士等人材確保事業」と「四日市コンビナートカーボンニュートラル推進事業」について附帯決議を付しました。

また、6件の議員提出議案について原案のとおり可決しました。

日 程

月	日	内 容
2	9(水)	本会議 初日(議案説明、報告・質疑、委員会付託、委員長報告・採決 ほか) 予算常任委員会各分科会(総務、教育民生) 予算常任委員会全体会
	18(金)	本会議(代表質問)
	21(月)	本会議(代表質問、一般質問)
	22(火)、24(木)、25(金)	本会議(一般質問)
	28(月)	本会議(一般質問、追加議案質疑・委員会付託 ほか)
3	1(火)～3(木)	各常任委員会／予算各分科会(総務、教育民生、産業生活、都市・環境)
	4(金)	教育民生常任委員会／予算常任委員会教育民生分科会
	7(月)	教育民生常任委員会
	11(金)	予算常任委員会全体会 本会議(発議案採決 ほか)
	14(月)～16(水)	予算常任委員会全体会
	24(木)	本会議 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決 ほか)

議案の議決結果

市長提出議案	議 案 名	議決結果	
議案第72号	令和3年度一般会計補正予算(第11号)	原案可決	全 員
議案第73号	令和4年度一般会計予算(1309億2000万円)	原案可決	全 員
議案第74号	令和4年度競輪事業特別会計予算(225億5000万円)	原案可決	全 員
議案第75号	令和4年度国民健康保険特別会計予算(257億8100万円)	原案可決	賛成多数
議案第76号	令和4年度食肉センター食肉市場特別会計予算(7億1700万円)	原案可決	全 員
議案第77号	令和4年度土地区画整理事業特別会計予算(7610万円)	原案可決	全 員
議案第78号	令和4年度農業集落排水事業特別会計予算(4億1030万円)	原案可決	全 員
議案第79号	令和4年度介護保険特別会計予算(228億3900万円)	原案可決	全 員
議案第80号	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算(70億8400万円)	原案可決	全 員
議案第81号	令和4年度水道事業会計予算(119億5195万5000円)	原案可決	全 員
議案第82号	令和4年度市立四日市病院事業会計予算(257億8928万9000円)	原案可決	全 員
議案第83号	令和4年度下水道事業会計予算(274億8855万8000円)	原案可決	全 員
議案第84号	令和4年度桜財産区予算(4890万円)	原案可決	全 員
議案第85号	個人情報保護条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第86号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第87号	国民健康保険条例の一部改正	原案可決	賛成多数
議案第88号	公衆浴場法施行条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第89号	市立こども園条例の一部改正	原案可決	全 員

議案第90号	廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第91号	北部墓地公園条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第92号	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第93号	工事請負契約の締結 一三重北勢健康増進センター空調設備及び中央監視設備更新工事一	原案可決	全 員
議案第94号	工事請負契約の締結 一令和3年度～令和5年度 地域維持型道路・河川等維持修繕業務（北部）（単価契約）一	原案可決	全 員
議案第95号	工事請負契約の締結 一令和3年度～令和5年度 地域維持型道路・河川等維持修繕業務（中部）（単価契約）一	原案可決	全 員
議案第96号	工事請負契約の締結 一令和3年度～令和5年度 地域維持型道路・河川等維持修繕業務（南部）（単価契約）一	原案可決	全 員
議案第97号	工事請負契約の締結 一常磐西小学校大規模改修工事（2期工事）一	原案可決	全 員
議案第98号	工事請負契約の締結 一笹川小学校中校舎大規模改修工事一	原案可決	全 員
議案第99号	工事請負契約の締結 一川島小学校大規模改修工事一	原案可決	全 員
議案第100号	工事請負契約の締結 一犬矢知興譲小学校大規模改修ほか工事（1期工事）一	原案可決	全 員
議案第101号	工事請負契約の締結 一常磐中学校大規模改修工事（1期工事）一	原案可決	全 員
議案第102号	工事請負契約の締結 一博物館空調設備更新工事一	原案可決	全 員
議案第103号	訴えの提起	原案可決	全 員
議案第104号	物損事故に関する和解	原案可決	全 員
議案第105号	市道路線の認定	原案可決	全 員
議案第106号	令和3年度 一般会計補正予算（第12号）	原案可決	全 員
議案第107号	令和3年度 競輪事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
議案第108号	令和3年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
議案第109号	令和3年度 食肉センター食肉市場特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
議案第110号	令和3年度 土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全 員
議案第111号	令和3年度 住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全 員
議案第112号	令和3年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
議案第113号	令和3年度 下水道事業会計第3回補正予算	原案可決	全 員
議案第114号	令和4年度 一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全 員
議案第115号	令和4年度 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	賛成多数
議案第116号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第117号	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第118号	市職員給与条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第119号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第120号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第121号	国民健康保険条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第122号	環境保全審議会条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第123号	市営住宅条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第124号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第125号	吏員退職料、退職給与金、遺族扶助料支給条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第126号	工事請負契約の締結 一四日市中央線道路整備工事一	原案可決	全 員
議案第127号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意	全 員
議案第128号	人権擁護委員の推薦	同 意	全 員

議員提出議案	議 案 名	議決結果	
発議第12号*	市議会議会運営委員会委員の選任	原案可決	全 員
発議第12号*	四日市市の“就学前教育の再生”に関する、市長への意見書の提出	原案可決	賛成多数
発議第13号	ロシアによるウクライナ軍事侵攻を非難する決議	原案可決	全 員
発議第14号	中華人民共和国による人権状況に対する調査及び対応を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第15号	市議会ハラスメントの防止等に関する条例の制定	原案可決	全 員
発議第16号	市議会委員会条例の一部改正	原案可決	全 員

*発議第12号は発議番号の重複が生じています。法的には問題ないため現状のままとさせていただきますが、今後このようなことのないよう再発防止に努めてまいります。

議案の賛否一覧表

議案番号	議決結果	賛成 反対	政友クラブ							新風創志会					フューチャー四日市				公明党			市民eyes			青雲会			無会派 日本共産党										
			伊藤嗣也	小川政人	荻須智之	川村幸康	笹井絹予	笹岡秀太郎	中村久雄	日置記平	森康哲	石川善己	井上進	谷口周司	早川新平	平野貴之	諸岡覚	小田あけみ	加納康樹	後藤純子	竹野兼主	樋口龍馬	村山繁生	荒木美幸	中川雅晶	樋口博己	森智子	山口智也	伊藤昌志	小林博次	土井数馬	豊田政典	三木隆	森川慎	太田紀子	豊田祥司		
議案第75号	原案可決	31:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議案第87号	原案可決	31:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議案第115号	原案可決	31:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
発議第12号	原案可決	17:16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ×は反対 ※ 議長（樋口博己）は採決に加わらない。

用語解説

【討論】 採決の前に議題となっている案件に対し、自己の賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

議案第87号 討論（反対） （豊田祥司議員）

今回の国民健康保険料所得割・均等割に係る割賦割合の改定は、加入者にとって保険料の増額となる。そもそも現在の国民健康保険料自体が所得に対して負担が大き過ぎる上に、コロナ禍など社会情勢の影響で生活が厳しくなり、加入者の高齢化が進んで保険料が上がり続けていくことも見込まれる中、さらなる負担増となってしまう。単に保険会社だけを見て保険料を設定するのではなく、その前に生活している加入者の現状を見て、生活に寄り添った判断をしなければならないと考え、本議案に反対する。

発議第12号 討論（賛成） （土井数馬議員）

子育てにおいてコスト面での効率や合理性ばかりを持ち出すべきではないが、本市が公立幼稚園のこども園化を安易に進めているのではないかと憂慮する。本市が将来的に理想とする子育て計画の最終形も見えない。保育ニーズが一層多様化する中、保護者や地域住民はもとより、子育てに関わるすべての人に対しても、よりの確に伝えていけるような「分かりやすい子育て行政」の展開が必要と考える。市長が目指す「子育てするなら四日市」の最終形を明らかにしてもらうためにも意見書の提出に賛成する。

発議第12号 討論（反対） （荒木美幸議員）

意見書前文に市職員の発言とされる言葉が記されているが、信頼性が低く、誤解を与えかねない。また、就学前教育の将来計画の本年8月末までの策定を求めているが、行政手続き上、達成不可能である。さらに、本市の就学前教育については、昨年、教育民生常任委員会の議論を経て提言を行った経緯があり、重ねて意見書を提出することは委員会軽視と言わざるを得ない。本市が既出の提言をもとに就学前教育、なかんずく公立幼稚園のあり方を引き続き熟考し、方向性を示すことを強く願い、反対する。

発議第12号 討論（賛成） （三木隆議員）

公立幼稚園の3歳児保育は、市民の切実な声であり、公立幼稚園再生のための重要な施策である。昨年の請願の不採択は、市議会が3歳児保育を否定したのではない。また昨年12月の提言に対する市の回答は、提言趣旨を正面から受け止めた内容ではなく、改めてこの意見書の提出が必要と考える。さらに、いくら問うても、本市は就学前教育の将来展望を明確に示さない。市に回答を求め、市議会が市と本当の議論を始めることが市民の願いであり、市議会の責務である。これらのことから、当議案に賛成する。

発議第12号 討論（反対） （竹野兼主議員）

公立幼稚園のこども園化は子どもたちの集団規模の確保のために進められており、すべての公立幼稚園を廃止しようとするものではない。また、公立幼稚園の第二次適正化計画については、教育民生常任委員会の丁寧な議論を経てすでに市長に提言を行っており、同様の意見書を重ねて提出することは委員会軽視である。さらに、他市の事例を見ても、公立幼稚園での3歳児保育の実施により園児の減少を食い止めることは大変難しいと考える。以上の理由から意見書の提出に反対する。

発議第12号 討論（賛成） （伊藤嗣也議員）

子どもたちは、就学前の期間に一生の宝物となるさまざまな体験をする。現在の公立幼稚園の第二次適正化計画では、休廃園の基準の規定に重点が置かれ、心豊かな情操教育の実現に向けた体制づくりや、働く人の待遇改善という視点が弱い。今回の意見書は、本市が目指すべき就学前教育の将来計画を策定することを求めるものである。全ての子どもたちを安心して育てていくため、市議会や市民との対話のもとに将来計画を作り上げていく必要があると考え、当議案に賛成する。

委員会審査の概要

常任委員会における条例の制定、一部改正や契約を締結しようとする議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

総務常任委員会

◆物損事故に関する和解について

質疑 消防車両に衝突被害軽減ブレーキ等の安全装置を導入すれば事故の軽減が期待されるが、消防分団車は、普段から消防車両に乗り慣れていない団員の運転も想定されるため、安全装置の導入が特に必要と考えるがどうか。

回答 令和5年度以降に更新を予定している消防分団車への安全装置等の導入について、今後検討していきたい。

都市・環境常任委員会

◆廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について

質疑 廃棄物を持ち去る行為に対して市民が注意することは何か。

回答 金属スクラップの価格が上昇しているため、持ち去り行為が活発化する可能性がある。持ち去り行為を見つけても、危害を加えられる可能性があるため注意等は行わず、今後の監視やパトロールに生かすため市に情報提供してほしい。



◆工事請負契約の締結について 一令和3～5年度地域維持型道路・河川等維持修繕業務(単価契約)一

質疑 効率的な発注方法であることは理解するが、小規模事業者が工事に参加できるように配慮されているのか。

回答 JV（複数企業が一つの工事を受注・施工するために形成する組織体）については、代表者以外の事業者には企業規模などのランクを指定していないため、小規模事業者でもJVに参加できる。また、下請けとして工事に携わることもできる。

教育民生常任委員会

◆公衆浴場法施行条例の一部改正について

質疑 今回の条例改正によって混浴制限年齢を10歳から7歳に引き下げるものの、「利用形態により風紀を害するおそれがないと認められる場合はこの限りでない」とのことだが、どのような場合か。

回答 例えば、「家族で利用する家族風呂の場合」「水着を着用する場合」「7歳以上であっても障害等により介助が必要な場合」などを想定している。



◆工事請負契約の締結について

質疑 入札結果について、ほとんどの業者が最低制限価格で応札し結果的にくじ引きとなっているが、この結果をどのように受け止めているか。

回答 予定価格積算書の情報開示請求が可能であり、また、調達契約課のホームページでは最低制限価格の算定式を公表しているため、予定価格から最低制限価格を割り出せるのではないかと考える。また、過度な価格競争になると、工事の品質確保の問題や職人の賃金確保の問題などが発生する可能性があることから最低制限価格を設けており、結果的に最低制限価格での応札となるのは致し方ないと考えている。

意見 入札の競争性が損なわれていると考えており、結果を重く受け止める必要がある。改善策について入札を担当する調達契約課と議論してほしい。

産業生活常任委員会

◆2月定例会月議会では、付託された議案はありませんでした。

予算常任委員会 審査の概要

予算の審査については、まず、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の各分科会で役割分担して詳細に審査を行います。その後、予算常任委員会全体会の場で各分科会から審査の経過と結果を報告し、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。予算の審査の概要をお知らせします。

予算常任委員会分科会

総務分科会

◆窓口キャッシュレス決済試行導入について

質疑 どのような計画で導入を図っていくのか。

回答 2年間で導入を進めていく予定であり、まずは、試行導入として2つの地区市民センターへの専

用機器の設置を想定している。令和4年度の前半にマニュアルの作成や運用方法の検討を行い、令和5年度には、すべての地区市民センターや本庁1、2階などの窓口を展開していきたいと考えている。

◆消防指令センター共同運用事業費について

質疑 119番映像通報システムの予算額はいくらか。また、その実績をどのように評価しているのか。

回答 桑名市、菰野町と共同で運営する指令事務協議会の予算37万円のうち、本市の負担分は20万円程度である。令和3年7月20日から運用しており、2月末までの実績で通報者へ依頼した件数が215件、映像を受信したのが170件で、うち100件程度を救急で使用している。件数は想定より多く、救命率の向上に寄与していると考ええる。



◆指定避難所におけるWi-Fiの整備について

質疑 指定避難所等に設置する公衆Wi-Fiの常時接続回線数や通信容量は、どの程度を想定しているのか。

回答 GIGAスクール構想の中で設置している市内小・中学校の体育館のルーターは、1カ所につき100台程度が限界と聞いている。使用に際しては緊急の情報を取得する程度にとどめ、動画の視聴等は控えてもらうことを考えている。

教育民生分科会

◆保育士等人材確保事業について

質疑 保育士は、学校教員に比べて給与などの処遇が大変厳しい。また、給与面の処遇の見直しはもちろん、労働環境を改善して働き方改革を進めることが重要であり、継続した勤務や休暇取得が難しいなど厳しい環境の中、ICTの活用や相談体制の充実など総合的な施策が必要である。当事業だけでは不十分であり、今後もさまざまな角度から支援策を展開し、保育士確保を進めるべきではないか。

回答 私立園を取り巻く状況は承知している。また、保育士が職場に求める条件として、業務量や職員数、休暇の取得等の労働環境を重視しているとの調査結果もある。今回提案した事業だけではなく、ICT化や相談対応等のソフト面の支援について研究していく。本市の取り組みを広くPRすることで、本市の園が保育士に注目してもらえるよう、四日市私立保育連盟と相談しながら取り組んでいきたい。



◆チーム学校について

質疑 ここ数年間でスクールカウンセラー等を小・中学校に配置してきたが、その効果を教えてほしい。

回答 例えば家庭にさまざまな課題があり登校できなかった児童生徒について、スクールソーシャルワーカーが入ることによって登校が可能となり進

学の希望が持てるようになるなど、関係機関と家庭が結び付くことで、学校だけで解決できなかった課題が解決に向かう事例を多く聞くようになってきた。

◆認知症早期診断事業費について

質疑 当事業を入り口として、認知症と診断された方が本市の各種支援事業や適切な医療やケアにつながるよう、認知症に関する事業を一体的に行っていくべきと考えるがどうか。

回答 当事業によって認知症と診断された方については、本市が実施する各種の支援事業に当然つなげていくべきものであり、早期診断事業と各種の支援事業は一体的に進めていく。



都市・環境分科会

◆市民に親しまれる公園ボランティア支援事業費について

質疑 地域で公園を管理しているボランティア団体が高齢化する中で、新たな担い手をどのように確保しようとしているのか。

回答 地域の企業に社会貢献活動の一環として新たに協力を呼び掛けていく。また、公園管理が地域のコミュニケーションの場でもあることをPRしたり、ボランティア団体とのマッチングを支援することで、活動団体への新たな参加者を掘り起こしていきたい。

質疑 今後も地域での公園管理を継続してもらうためには、ボランティアによる無償の公園管理と並行して、有償での管理も検討すべきではないか。

回答 有償での公園管理は、これまで無償で活動していた団体への影響が懸念されるほか、有償での地域活動の考え方を関係部局と議論する必要があると考える。今後も公園の集約化や他市の取り組みも参考にさまざまな手法を検討していきたい。

◆温水プール整備事業費について

質疑 昌栄町の温水プールの改築について、市民からのさまざまな意見に対し、どのように対応するのか。また、工事に当たり、閉鎖する期間はどの程度か。

回答 スポーツ施設整備計画に基づいた機能を維持するための同規模の建て替えであり、50mプールの設置等の要望に応えることは難しいが、更衣室やシャワーの改良などは対応したいと考えている。改築には2年程度、施設を閉鎖する必要がある。



質疑 改築後、使用できる期間の見込みはどうか。

回答 70年程度使用できると考える。

産業生活分科会

◆四日市コンビナートカーボンニュートラル推進事業について

質疑 カーボンニュートラル化は、環境配慮の視点や本市の生存戦略として必要であることは承知するが、公害の歴史を持つまちとして市民の安心を考えて進めるべきと考える。本市の見解を問う。

回答 安全なくして産業振興はないと考えており、関係機関からの指導を受けながら、安全安心を前提として事業を進めていく。

◆農林水産業費全体について

質疑 令和4年度予算が前年度比で約3億円の減額であり、市長の所信表明を見ても農業について触れている部分は少ない。本市は、農林水産業、ひいては農業振興に本当に力を入れていくつもりがあるのか。

回答 担い手農家を確保し、必要な農地の整備や機械整備の補助等を行って営農環境を整え、儲かる農業の実現に向けて取り組んでいきたい。現在は地固めを行っている段階である。

◆地域の文化遺産の保存・継承支援事業について

質疑 地域における祭り等の無形文化財の文化継承について、コロナ禍の影響で行事が開催できずに懸念の声が上がっている。今後継承していくために何か考えはあるか。

回答 当事業の補助金で伝統的な文化行事が継続していくよう支援しており、コロナ禍により補助金の利用は少ないものの、今だからこそできる用具の修繕等の取り組みを促している。また、例年実施する情報交換会の代わりとして、これまでにアンケートを2回実施し、各団体と情報を共有する中で、関係課の補助金等についても併せて案内している。

意見 伝統的な文化の継承は喫緊の課題である。コロナ収束後を見据えて取り組んでほしい。



予算常任委員会全体会

◆ドクターカー(※)の導入の検討について

質疑 今後、救急ワークステーションにおけるドクターカーの導入に向けた議論を行う考えはあるのか。

回答 一刻も早く患者が病院に搬送されることが望ましいという基本的な考え方は変わらないものの、

今回の議会からの意見を踏まえて、改めて市立四日市病院の内部で議論を行いたい。

意見 市民の生命に関わる消防・救急の分野においては、さらなる投資により、事業を充実させる気持ちを持って取り組んでほしい。

※傷病者により早く医療処置を行うために、医師や看護師などが同乗して現場に向かう緊急車両

◆保育士等人材確保事業について

質疑 令和5年度から保育士の勤続年数に応じて本市が支給を予定する就労奨励金について、保育士が同じ法人内での異動により市外の園に勤務することとなった場合、就労奨励金はどのような取り扱いとなるのか。

回答 市内にある私立園に勤務した期間を勤続年数として取り扱う。

意見 採用時期が同じでも配属される園が市内か市外かで差が生じてしまう。混乱が起こらないよう配

慮が必要であり、周辺自治体とも協調し施策を行ってほしい。

●議論を経て、次のように附帯決議を付しました。

【附帯決議】

「当該事業実施にあたっては、市内各私立園保育士の処遇改善及び職場環境改善など、人材確保における課題の把握に努めること。また当事業の効果を検証し、必要な場合はさらなる追加措置についても前向きに検討すること。」

◆地区市民センター機能強化事業(階段昇降機設置)について

質疑 地区市民センターのバリアフリー化のために階段昇降機を設置することのメリットとデメリットをどのように捉えているか。

回答 2階以上で開催することが多い地域のサークル活動等に、階段を使うことが難しい人も参加しやすくなるのがメリットである。また、レールの設

置によって階段の幅が少し狭くなるのがデメリットと考える。



市内自治会集会所での設置事例

◆合併浄化槽設置費補助金について

質疑 単独処理浄化槽やくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換を促進するため、独自に補助金を増額している自治体もある。本市でも検討すべきではないか。

回答 合併処理浄化槽への転換促進に向けた取り組みについては、他市の取り組みの研究に加え、生活排水処理方法ごとの利用者負担のバランスを考慮して検討したい。

◆中小企業等支援について

質疑 中小企業等事業再構築促進事業は、国において令和4年度も継続する予定であることから、国や県と連携して中小企業等への支援に関する事業を展開すべきではないか。

回答 国や県の動向を見極めながら、市内のさまざまな事業者の意見も聴取した上で有効的な支援となる

よう、状況に応じて本市の中小企業等支援事業を構築していきたい。また、これまでの補助対象の範囲や制度の利便性などを見直し、年度途中であっても必要に応じて補正予算により新たな支援策を講じるなど、全庁的に対応していきたい。



◆四日市コンビナートカーボンニュートラル推進事業について

質疑 「四日市コンビナートのカーボンニュートラルに向けた検討委員会」の会議を非公開としている理由を確認したい。

回答 会議冒頭は公開するが、意見交換の部分は忌憚きたんのない意見を出し合う場とするため非公開の予定である。

質疑 議会によるチェックをどのように担保するのか。

回答 検討委員会は企業を交えて現状把握や調査検討を行い、カーボンニュートラル社会に対応するた

めの課題やヒントを得るための重要な場と考えている。これらを本市の施策につなげていく過程においては、議会に対して十分な説明を行っていく。

●議論を経て、次のように附帯決議を付しました。

〔附帯決議〕
「事業実施にあたっては、四日市市環境基本条例の定める基本理念に則り、国が掲げる2050年のカーボンニュートラルに向け、行政やコンビナート企業が何を為すべきか検討することを第一義的な目的とすること。また会議の透明性を確保し、市民、議会へその内容の説明に適宜努めること。」

2月定例会月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。

いただいたすべてのご意見は、市議会ホームページに掲載しています。



◆詳しくはホームページへ→

◆マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化事業について 5件

- ・もっと手続きを簡素化し、マイナンバーカードの必要性があるものにしなければならない。
- ・市民が何に不便を感じているのか分析して結果を公表し市民が納得しないと、費用対効果が心配である。
- ・市民の立場に立ち国・県との連携を強化してほしい。

◆認知症早期診断事業費について 7件

- ・運転免許証更新の際の高齢者講習とリンクし、活用できる仕組みづくりができないか。
- ・地域の民生委員さんの見守り活動の中から必要な人を見つけ出した方が良い結果が出るのではないか。
- ・事業の内容を明確にして市民に周知してほしい。
- ・本人だけではなく、家族にも理解してもらえようように周知方法を考えてほしい。

◆買い物拠点再生事業について 3件

- ・大規模郊外店舗の出現で団地内の店舗は閉店してしまっただが、大規模店舗に行けない人が増えてきている。移動が困難な人もおり、店舗販売だけでなく、移動販売に対して厚く支援してほしい。
- ・四日市の市のとときに空き店舗の場を提供したり、メディアを通じてユニークな店舗を全国で紹介することで活性化してくると思う。事業に期待している。

◆温水プール整備事業について 22件

- ・四日市には水球の公式戦ができる30mのプールがない。競技する子どもたちのためにも検討してほしい。
- ・安全で快適に利用できるプールにしてほしい。
- ・健康づくりのために水中歩行を行っているが、プールが深すぎて体が浮いて歩けない。歩行者用のレーンや水深の浅いプールをつくってほしい。
- ・水泳の公認大会ができるように観客席のある50mプールを整備してほしい。

6月定例会月議会については、5月31日(火)に市議会ホームページ (<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>) に議案および議案資料を掲載し、6月15日(水)までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。



市議会からの提言 どうなった？

四日市市議会では、決算審査を通じて明らかになった課題を集約し、次年度の予算に反映するために市長に提言を行っています。昨年の8月定例会月議会に行った提言内容の令和4年度予算への反映状況は、以下のとおりです。

<p>避難所運営における マイナンバーカード活用に向けた調査研究</p>	<p>100万円 前年度当初予算額 (—)</p>
<p>○災害時の避難所運営や被災者支援にデジタル技術を活用する事例を調査し、導入に向けた調査研究を行います 〔活用例〕マイナンバーカードを活用した「避難所の受付業務」「避難所外避難者（在宅や車中などでの避難者）の状況把握」「罹災証明書の発行」「支援金の給付」など</p>	<p>新規事業</p> <p>分科会での意見 受付の円滑化、長期の避難生活への活用など幅広く研究してほしい</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策事業の 強化・充実</p>	<p>2億9271.1万円 前年度当初予算額 (6118.9万円)</p>
<p>○庁内からの応援や看護師の有資格者などを活用し、保健所の人員体制の強化と業務の効率化を図ります ○入院病床や宿泊療養施設の確保を県と連携して進めます ○自宅療養者への飲料品等の配送や、集団検査の実施を進めます</p>	<p>事業拡大</p> <p>分科会での意見 若年層の感染者数が増えているので、対策を強化してほしい</p>
<p>コロナ禍における市立四日市病院の 職員へのサポートの充実と労働環境の整備</p>	<p>8448万円 前年度当初予算額 (3369.6万円)</p>
<p>○マスクや消毒液などの消耗品が不足しないように購入します ○清潔で安全な環境を保つための日常清掃などを徹底します ○感染症対策に従事した職員への感染危険手当の支給や、病院職員のメンタルヘルスカウンセリングなどを行います</p>	<p>事業拡大</p> <p>分科会での意見 市職員がカウンセリングを受けやすい環境を模索してほしい</p>
<p>コロナ禍での安全・安心な スポーツイベントの開催の検討</p>	<p>5155.8万円 前年度当初予算額 (4485.2万円)</p>
<p>○感染防止対策を徹底して開催ができるかどうか検討し、規模縮小や中止等の判断を行いました。令和4年度に初の開催を予定していた四日市ハーフマラソンは開催を見送り、令和5年度の開催を目指して、令和4年度はプレイベントを開催します</p>	<p>実施方法の見直し</p> <p>分科会での意見 感染状況を慎重に判断し、市民にプラスとなる事業を実施してほしい</p>



市議会からの提案がしっかりと予算や事業内容に反映されたことを確認しました。今後も、予算が適切に使われているのか、市の取り組み状況を引き続きチェックしていきます。

◆詳しくは
ホーム
ページへ→



**代表
質問**から

代表質問は、市議会の各会派が当初予算の審議に先立ち、市長の施政方針について考えをたずめるものです。その主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（次の6月定例会月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

代表質問した議員と項目（質問順）

川村 幸康	政友クラブ	市長の所信表明について
中川 雅晶	公明党	市長の所信表明及び令和4年度当初予算について
早川 新平	新風創志会	市長の所信表明及び令和4年度当初予算に関連して
三木 隆	青雲会	市長の所信表明と令和4年度当初予算に関連して
小林 博次	市民eyes	市長の所信表明に関連して
村山 繁生	フューチャー四日市	市長の所信表明と令和4年度当初予算について

市政運営

適正な手続きに基づいた行政運営を求める



政友クラブ
川村 幸康

議員 コロナ禍の経験を経て、行政がどのように対応し改善してきたのかが重要である。ワクチン接種などでの課題を整理の上で計画を立て、市民に見えるようにすることで課題解決の道筋が見えてくる。また、コロナ禍が長引く中で長期を見据えた政策判断も必要となる中、政策決定までのプロセスの透明化は行政の責務である。市民への十分な説明責任を行い、政策判断への理解を得ることが求められるのではないか。

市長 行政として、伝えるべき情報を必要とする市民にいかに届けるか、特にコロナ禍で状況が目まぐるしく変わる中で正しい情報をいかに早く届けるかが重要である。私自身も先頭に立って記者会見等を行うなど、さまざまな手段で情報発信を行っている。これまでの事例を改善のための貴重な経験と捉え、こまめに改善を図り、よりよい市民サービスの提供につなげたい。

議員 政策判断を行うに当たって、行政内部での指揮命令系統が組織的に確認されていないのではないか。また、予想外の事態が発生した場

合に、その経験を次に生かして課題を解決することが重要であり、知恵を絞って具体的な策を講じる必要があるが、職員がトップである市長の顔色をうかがい施策を決定しているのではないかと疑問を感じている。職員や関係者の意見を踏まえた施策を実施すべきではないか。

市長 政策立案や事業推進に当たっては、各部局からの意見や提言も受け、庁内会議で活発な議論を行うとともに、法的根拠や客観的なデータの確認、規定の整備など必要なチェックを行って施策を決定している。若手職員からの意見も重視し、毎年政策提案もしてもらっている。今後もトップと現場との意思疎通を図っていく。

議員 市長は、法令や内規に照らして施策を進めることが重要であり、それにより議会も議案についてオープンに議論することができる。議会や市民に明確な説明ができるよう、適正な行政手続きをしっかりと行い議案を上程すべきである。組織を強化し、行政手続きの重要性を踏まえた健全な市政運営を求めたい。



市政全般

人を中心にした行政に転換すべき



公明党
中川 雅晶

議員 年度途中での待機児童等の課題を解決し、市民の保育ニーズに応えるためには保育士の人材確保が欠かせない。保育士に選ばれ、働き続けてもらえるよう、経済的支援や働き方改革を総合的に進め、時代に即した処遇と労働環境をつくり上げる必要があるのではないか。

市長 私立の保育園やこども園に勤務して1年、3年が経過した職員に対し、10万円を支給する奨励金給付制度を創設し、令和5年度から給付を開始するなど、特色ある取り組みを進めたい。また、ICT活用など労働環境の改善につながる取り組みについても、四日市私立保育連盟と協力しながら効果的な取り組みを研究し、保育士の確保、定着化に努めたい。

議員 不登校児童・生徒の支援として校内ふれあい教室の設置を進めているが、設置校と未設置校の格差是正および不登校対応教員配置計画の策定により、支援体制の充実を図る必要があると考えるがどうか。

市長 校内ふれあい教室の効果検証を進めるとともに、ICT機器の活用等、多様な学びの手法について検討していく。なお、校内ふれあい教室未設置校には不登校対策アドバイザーによる支援を行うなど、全小・中学校における不登校支援を進めていく。



議員 市内の宿泊施設を福祉避難所として利用する災害応援協定を締結したことは評価するが、必要な時に効果的に活用できるかが重要である。個別避難計画の策定や福祉避難所となる宿泊施設への支援について、関係者や関係団体等と連携して検討を進める必要があるのではないか。

市長 今後、各宿泊施設と受け入れに関する詳細内容を詰めていく中で、人的・物的支援について意見交換しながら検討する。また、個別避難計画と福祉避難所の結び付けについては、関係部局が連携して検討を行っている。今後は災害時に直接福祉避難所に避難できる仕組みを整えたいが、移動手段や受け入れ態勢等の課題があり、地域や福祉関係者等と協議しながら取り組みを進めたい。



不登校児童・生徒への支援体制の拡充が求められる

市政運営

市民の生命と財産を守れ



新風創志会
早川 新平

議員 令和4年度の組織・機構の見直しにより、危機管理監を危機管理統括部に、危機管理室を危機管理課に名称を変更するが、どのように機能を強化し、危機管理政策に取り組むのか。

市長 本市では、防災について全部局で対応することとしているが、市長の直轄組織として全庁を統括する機能をさらに強化するために名称を改め、二つのグループを新設する。地域防災支援グループでは地域防災力の推進に取り組み、危機管理企画グループでは、関係部局と連携し、ハード対策を含む災害に強いまちづくりを目指した施設整備の計画等に取り組む。

議員 市民サービス向上につながる組織・機構の見直しは必要だが、行政の弱点である縦割り構造により、部局をまたぐ案件について各部局で職務を遂行する中で、それぞれの立場で相反する方向性が出ることもある。市長として、どのように意思統一をしていくのか。

市長 各部局で専門性を高めると同時に、複数の部局が連携し、全体への影響を意識して業

務に当たる必要があり、そのための体制整備や情報共有が必要である。本市総合計画の重点的横断戦略プランはこうした考えに基づいており、分野横断的に課題に取り組んでいる。市長として最適な方向性を見極め、重点化すべき分野を各部局に指示し、市政のかじ取りをしていく。

議員 総合計画の防災分野では、ソフト対策に重点が置かれ、ハード対策が弱いと感じる。ハード対策には莫大な費用と時間を要するが、ソフト・ハードの両輪を機能させる必要があり、ハード対策も我が事として捉え、充実させることが肝要である。本市の見解はどうか。

市長 まちづくり、施設の維持管理など、市のハード事業において、防災・減災の視点を大切にして取り組んでいる。また、治水対策や港湾、道路整備などのハード対策、緊急輸送道路沿いの建築物の耐震化などについて、引き続き、国、県と連携して取り組んでいく。危機管理統括部を設置する中で、ソフト・ハード両面での防災・減災対策をさらに強化していきたい。



市政運営

子や孫の代も四日市が豊かでよいまちであるために



青雲会
三木 隆

議員 国が2050年までにカーボンニュートラルを目指す中、特に運輸や物流の過程で排出される炭素の削減に向けた本市の具体的な方策を確認したい。また、本市の繁栄に不可欠な石油コンビナート企業の取り組みに対する本市の考え方を確認したい。

市長 本市は、脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一体となり取り組んでいる。特に運輸部門では、公共交通の利用促進や電気自動車の充電設備への補助、バス路線の乗り継ぎ拠点の整備などを実施するとともに、公用車に電気自動車等を先行導入したいと考える。また、本市が主体となって検討委員会を早急に立ち上げ、コンビナート企業等と連携して、カーボンニュートラル社会に貢献し、持続的に発展する四日市コンビナートの確立を目指したい。

議員 本市では、学校規模等適正化計画において適正基準（※1）を定め、小・中学校の統廃合を行う物差しとしているが、適正基準を絶対として事後的に統廃合を検討するだけの先送り

行政を改め、小・中学校の全市的な再配置計画を立てるべきと考える。「教育するなら四日市」にふさわしい学習環境と学校施設をすべての子どもたちに提供すべきと考えるがどうか。

市長 少子化が一段と加速する中、本市の児童生徒数は、今後10年間で約15%減少する見通しである。学校規模等適正化計画では、特に、中学校で一定規模の生徒集団による教育環境を確保する方針を打ち出しており、地域の実情に応じた将来的な姿を見据えることが重要と考える。子どもたちにとって望ましい学校のあり方と持続可能な学校配置について、G I G Aスクール構想（※2）や少人数学級の導入など学校運営に関する国の動向を十分注視していく。

議員 学校での教員の働き方改革と部活動の充実を目指し、中学校全校に部活動指導員を配置することだが、今後の考え方を確認したい。

市長 令和5年度から休日の部活動を段階的に地域人材が担うという国の方針も踏まえ、部活動指導員の地域での多様な人材確保を進める。

※1 学級規模、学級数、児童生徒数等について、学校の適正規模等の考え方を定めた基準。基準に基づき各学校の適正規模等を判定する
※2 義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用パソコン等と高速ネットワーク環境などを整備する計画



市政全般

未来型の都市を目指すべき



市民eyes
小林 博次

議員 中心市街地整備について立体模型を使って市の考えが示されたが、eスポーツ（※1）に親しむ場や大学など、若者が気楽に集い、学び、遊べる施設が足りないと感じた。リニア中央新幹線の延伸が計画されているが、本市には停車駅の設置は予定されておらず、対策を講じなければ発展から取り残されてしまう。停車駅が計画されている亀山市へのアクセスに優れたJR四日市駅の再開発を中心に、空飛ぶ車の拠点を設置し、中部国際空港へのアクセスを高めるなど、未来型の都市に転換すべきではないか。

次に、地域通貨について、運用面の負担などから減少傾向だったが、最近では電子決済サービスと組み合わせた取り組みが成果を出している。同様の取り組みは多気町にある大型複合リゾート施設とその周辺自治体でも検討が進んでいる。市長が言うDX（※2）の考えや政府の方針にも沿ったものだと考えるが、本市でも電子地域通貨を導入してはどうか。

市長 高等教育機関が立地するなど、若者が集う活気あふれる中心市街地は本市が目指すべき姿であり、幅広く情報収集し、検討を行っていく。JR四日市駅周辺については、港へのアクセスを高める歩行者通路等のハード整備に加え、にぎわい創出に向けた社会実験等を通じて、

中央通りを居心地のよい、魅力的な空間にしていきたい。また、中央通りの回遊性向上に向け、自動運転車両の実証実験を予定している。

次に、電子地域通貨については、効果的に活用することで、地域での経済循環の促進や課題解決につながるものと考えているが、一方で、導入に当たっては、一定規模の利用エリアを確保しつつ、安定した財源確保と運営体制の維持が求められる。本市はデジタル化に向けた基盤づくりを行っているところであり、今回、初めて購入から利用までをすべてデジタルで行う「よんデジ券」を発行し、効果や課題について分析を行っていくこととしている。電子地域通貨導入の可能性については、地域の金融機関や経済団体等と意見交換を行い、研究していきたい。



中央通り再編により近鉄四日市から港へつながるまちづくり（イメージ）

※1 エレクトロニック・スポーツ。コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称
※2 デジタルトランスフォーメーション。進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること



市政運営 未来の四日市のために



フューチャー四日市
村山 繁生

議員 保育ニーズが増大し、育休退園や、兄弟姉妹が異なる保育園に通うなどの課題を解決するには保育士等のさらなる人材確保が必要である。本市では保育士の処遇改善等に取り組んできたが、本市の保育園を就職先に選んでもらうためには、本市独自の思い切った施策が必要と考える。市内の保育園に勤務する人へ家賃補助や、勤続年数に応じたさらなる処遇改善を提案するが、本市の見解はどうか。

市長 新たな人材の確保と定着化のため、現行の手厚い施策について周知の強化を図る。新たな取り組みとして、私立の保育園やこども園に勤務して1年、3年が経過した職員に対し、10万円を支給する奨励金給付制度を創設し、令和5年度から給付を開始する予定である。家賃補助やさらなる給与改善について、保育士確保のための方策として今後も研究していきたい。

議員 四日市コンビナートのカーボンニュートラル推進について、水素事業に関してもっと強く発信すべきであり、今後も諦めずに検討を続けてほしい。現在、脱炭素に取り組む新事業に対して国の補助が充実しており、これを活用して企業誘致や実証実験などに取り組むべきと考える。港と連携した水素の備蓄施設の整備について、コンビナートと港を有する本市が他市に

先駆けて議論を進めるべきではないか。また、市長の公用車に水素燃料電池車を導入するなど、水素社会に向けた機運を高めてはどうか。

市長 本市では、水素等の新エネルギーについて、平成28年からコンビナート技術者、学識経験者、国、県等とともにいち早く調査検討を実施しており、今後は国や県と連携して検討委員会を設置し、企業誘致や実証実験、港を活用した水素の受入・備蓄機能について、四日市港のポテンシャルも認識し、しっかりと検討していきたい。また、公用車への燃料電池車の導入は、エネルギーが化石燃料由来でないか等の視点も考慮して、導入計画の検討をしていきたい。

議員 他市町に遅れることなくスピード感をもって強い方向性を示すよう要望する。



水素社会の実現に向けてスピード感のある取り組みが期待される



よっかいち市議会だより が

マチイロで
読めます。



アプリ使用料
が無料!
※通信料は別途
かかります

プッシュ通知
で最新号の
発行を
お知らせ!

登録する他の
自治体広報誌
が読める!



市外にいても
電子データで
見られる!

※マチイロとは、全国の登録自治体（行政・議会）の広報紙が読めるアプリです。スマートフォンやタブレット端末でご利用いただけます。

※マチイロは、株式会社ホープ（福岡市中央区）が運営しています。アプリ内に広告が表示されますが、四日市市議会とは関係ありませんのでご了承ください。

一般質問した議員と項目（質問順）

森 智子	<ul style="list-style-type: none"> ・市民で取り組む脱炭素 ～グリーンライフポイント制度の導入を～ ・地域の防災力を向上させるために ～気象防災アドバイザーの活用を～ ・低体重出生児について ～リトルベビーハンドブックの導入啓発を～
山口 智也	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な計画相談支援の構築 ・感染症対策としての自動水栓の導入促進
荒木 美幸	<ul style="list-style-type: none"> ・流産や死産を経験した女性等への心理社会的支援について ～不妊治療保険適用を受けて～ ・持続可能な防災・減災対策について ～フェーズ・フリーその3～ ・市民公園の放置自転車対策について
太田 紀子	<ul style="list-style-type: none"> ・ご存じですか、疾病によっては40歳から介護保険が利用できることを ・A Y A世代のがん患者に支援を ・聞こえのバリアフリー・加齢性難聴への支援、その後
豊田 祥司	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険料について ・子どもの貧困対策について
石川 善己	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業の維持の為に ～アグロエコロジーとスマート農業 ・本市の名産品 お茶の振興について ・既存集落の維持に向けて
谷口 周司	<ul style="list-style-type: none"> ・待ったなし！水道インフラの現状 ・森市長の所信表明について
諸岡 覚	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道の未来について尋ねる ・子育てしやすい街である事実を知るのは市民の権利 ・市内公立小中校の学校備品価格差のその後について
平野 貴之	<ul style="list-style-type: none"> ・そこに本気はあるか!?市の交通安全施策
後藤 純子	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの貧困について ～コロナ禍を受けての現状と今後の取り組み～ ・風致地区について ～里山保全の方針を問う～
小田あけみ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働について ・空き家の活用について
加納 康樹	<ul style="list-style-type: none"> ・「中央通り再編事業に関連して」 ～新しく整備されるものと、既存施設の活用について～ ・「1人1台タブレット端末（ICT）の活用法について」 ～不登校に限らず、登校できない場合のICT活用法は？～
竹野 兼主	<ul style="list-style-type: none"> ・四日市市公共施設マネジメントに関する基本方針について
土井 数馬	<ul style="list-style-type: none"> ・《新型コロナウイルス対応》社会活動への懸念と憂い
伊藤 昌志	<ul style="list-style-type: none"> ・富田地区等沿岸部の防潮扉について、運用方法改善を。 ・市立幼稚園存続を求めた6千名超署名者へ、分かりやすい説明を。 ・5～11歳ワクチン接種に反対！国の示すデータ、情報を適切に広めるべき。
笹井 絹予	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革について ～市民の利便性を高めるために
伊藤 嗣也	<ul style="list-style-type: none"> ・転院搬送及び患者等搬送事業について
荻須 智之	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー音楽コンクール廃止について ・電子図書貸し出しについて
中村 久雄	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の安全安心につながる保全を検証する。 ・人事制度を確認する。
森 康哲	<ul style="list-style-type: none"> ・三重橋垂坂線の状況と羽津古新田の土地利用について ・羽津地区の治水・排水対策について
小川 政人	<ul style="list-style-type: none"> ・再選後の所信表明の風通しが良く心を一つにした組織ゆるぎない正義感について
森川 慎	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による後遺症について ・人口減少問題について——四日市市人口ビジョンから問う

一般質問から

一般質問は、定例月議会が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

2月定例月議会は、22人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット議会中継」または「会議録（次の6月定例月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

環境

市民の脱炭素に向けた取り組みを推進せよ



公明党
森 智子

議員 世界的に地球温暖化による被害が深刻化する中、脱炭素化に向け、それぞれの立場で「自分ごと」として取り組む必要がある。環境問題への市民意識を醸成するためには、誰でも手軽に取り組めることが重要である。そこで、市民が楽しみながら、環境に配慮した日常の行動にポイントを付与（※1）する「グリーンライフポイント制度」を本市で導入してはどうか。

環境部長 同制度は、楽しみながら環境配慮行動を継続できる効果的な手段である。一方で、実施には、システムの構築や店舗の協力が必要となるなど、クリアすべき課題もある。他自治体の先行事例を参考にして研究したい。

議員 日常の身近なところからライフスタイル

の転換を促す対策の推進を求めたい。また、本市が重点的に進めるリデュースの取り組みとして、食品ロス削減のための「フードドライブ（※2）」を推進してはどうか。食品ロス削減への意識向上にもつながるのではないかと。

環境部長 本市では、ごみ処理基本計画において、食品ロス削減に関する施策を重点項目と位置付けている。フードドライブは、福祉政策的な側面に加え、食品ロス削減が期待できるが、回収した食品の運搬方法や費用、保管場所などの課題もある。さまざまな施策を研究し、できるところから食品ロス削減に取り組む。

議員 小さな行動がやがて大きな力になる。市民ができることを具体的に見える化してほしい。

※1 販売期限間際の食品購入やプラスチック製スプーンの受け取り辞退などの行動をとった際にポイントを付与すること
※2 家庭で余った未使用食品を持ち寄り、生活支援を必要とする人や福祉施設などに寄贈する活動



衛生

自動水栓の導入で市民を感染症から守れ



公明党
山口 智也

議員 感染対策として非接触型の自動水栓のニーズが高まっている。不特定多数が使用する手洗い場等において、衛生対策のほかに節水効果も期待できるが、導入には多額の経費を要することから、計画的に進める必要がある。公共施設への自動水栓の導入について、本市の考えを確認したい。また、特に小・中学校については、子どもたちの感染対策に加え、災害時には指定避難所として使われることも考慮し、積極的に導入を検討すべきと考えるがどうか。

財政経営部長 市施設の建築時や改修時に自動水栓化を進めており、現在約半数に自動水栓を設置している。コロナ禍で感染対策が求められるが、経費の面からも一斉に設置することは難

しく、施設改修等の際にトイレなど市民が使用する場所を中心に自動水栓を設置していきたい。

副教育長 校舎の改築時にトイレを自動水栓化しているほか、特別支援教室や保健室なども自動水栓化している。一方で、廊下などに設置している流しはさまざまな用途で使用するため、手動水栓としている。自動水栓は停電時に作動しないといった課題もあるため、自動水栓が適した場所での整備を進めるとともに、機能性や費用対効果など、引き続き研究していく。

議員 感染症が今後日常化する可能性もある中で、子どもたちの衛生環境を改善していくべきだ。いくつか課題はあるが、改修時におけるトイレ手洗い場の自動水栓化を検討してほしい。



防災・減災

持続可能な防災・減災対策 ～フェーズ・フリー～



公明党
荒木 美幸



議員 フェーズ・フリー(※)の概念が近隣自治体でも広がってきた。本市は早くからこの概念を取り入れ、南消防署の整備を進めてきたが進捗状況はどうか。また、日本初のフェーズ・フリー消防署をどのように発信していくのか。

消防長 施設の屋外階段を平時は隊員の訓練に使用し、非常時には津波避難施設として利用できるように設計しているほか、太陽光発電や燃料給油の設備を設置している。また、運用面でも専門家のアドバイスを受け、継続して取り組んでいる。完成後は広く市民に広報し、防災の日常化の取り組みを発信して推進していきたい。

議員 危機管理室におけるフェーズ・フリーの視点を取り入れた防災対策の取り組みはどうか。

※ 身のまわりにある物やサービスを、日常時だけでなく、非常時にも役立てることができるという考え方

危機管理監 ローリングストックの啓発や液体ミルクの防災備蓄品への導入などを進めるとともに、スマートフォンで緊急情報を受信するアプリ「Sアラート」の運用を開始した。来年度は日常的に使えるエコバッグを活用した防災・救急情報の啓発の取り組みを予定している。今後も引き続き防災の日常化を啓発していきたい。

議員 現在進んでいる近鉄四日市駅前周辺等整備事業の柱のひとつである、防災機能強化にフェーズ・フリーの視点をどのように生かすのか。

都市整備部長 オープンスペースの普段時と、災害時の使われ方の二つの活用をイメージした計画となるよう進めている。今後も持続可能な市街地の実現に向けて取り組んでいきたい。

福祉

「聞こえ」のバリアフリーを推進せよ



日本共産党
太田 紀子



議員 国民健康保険の健康診査受診券を送付する際に「聞こえのチェック」用紙(※)を同封することを以前提案したが、検討状況はどうか。

健康福祉部長 「聞こえのチェックリスト」は、「聞こえ」の状態を簡単にチェックでき、適切な受診や支援につなげる有効な手段と考える。本市でも作成し、ホームページへの掲載や窓口での配布を行う方向で進めていく。

議員 難聴の方のために窓口での卓上集音器の設置も以前提案した。感染対策による仕切り等で負担を感じているとの意見も聞く。合理的配慮として集音器設置を検討できないか。

健康福祉部長 コロナ禍で難聴高齢者が聞こえにくい環境となっており、高齢者が多く訪れる

※ 本人や周囲の人が難聴を早期に自覚できるように、聞こえの状態を簡単に確認できるチェックシート

福祉部局の窓口で試験的な導入の検討を進める。

議員 補聴器の購入費用の助成制度創設も以前提案した。コロナ禍でのマスク着用で以前にも増して聞き取りづらい今こそ、難聴の方の聞こえを支援し、社会参加を応援してはどうか。

健康福祉部長 法に基づく聴覚障害者等への助成制度は現在もあり、引き続き制度の周知と丁寧な説明を行う。高齢者への助成制度については、高齢者福祉施策を計画的に進める中で、今後、事業化の順序を見極めて検討したい。

議員 高齢者への補聴器購入費用への助成は、他都市でも実施事例がある。本当に困っている方に寄り添い、高齢者が前向きで自分らしく生活できるための制度の創設を求めたい。

子どもの貧困

子どもを貧困の連鎖から断ち切るための支援を



日本共産党
豊田 祥司



議員 コロナ禍で子どもの貧困が問題視されており、それぞれのケースも多様化、複雑化している。子ども食堂(※)などの子どもの居場所をつくることで、セーフティネットとなり、子どものSOSにいち早く気づくことができると考えるが、本市の取り組みはどうか。

こども未来部長 市民団体などが中心になって子ども食堂が実施されており、市は今年度で新型コロナ・子ども緊急支援プロジェクト補助事業を創設し、こうした取り組みを支援している。また、令和4年度からは県も補助事業の実施を予定しており、団体の実態に合った支援制度を案内していきたい。令和4年度に策定する子どもの貧困対策に関する計画の中で、子どものつ

ながりの場づくりへの支援策も検討していく。

議員 経済的な理由で進学を断念したり、進路変更してしまうケースもある。子どもが自由に進路選択できるように支援すべきと考えるが、進学支援についてはどうか。

副教育長 各種奨学金制度の貸与金額や返還方法をまとめ、学校を通じて生徒や保護者に情報提供している。本市でも奨学金制度を創設したところであり、各種奨学金制度を活用することで、経済的な理由で進学を断念せざるを得ない状況とならないよう、適切な指導を行っていく。

議員 さまざまな取り組みを行っていても市民に認知されていない。生活に大きな影響を与えるものもあり、周知に力を入れてほしい。

※ 無料または低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場

地場産業

お茶の振興に向けて本気の取り組みを



新風創志会
石川 善己

議員 本市のかぶせ茶の生産量は全国1位だが、以前、民間が行っていた「まるごと四日市ブランド」のように、お茶だけでなく萬古焼やそうめんなどの特産品を一体的にブランド化し、今こそ、行政主導で「四日市ブランド」としてブランドマークを作成し、PRや販路拡大など包括的に取り組むことが重要と考えるがどうか。

商工農水部長 ブランド化には一定の品質、こだわりを維持し、継続させることが重要である。品質向上のための栽培方法なども大事であり、ブランド化に向けて生産者と一緒に検討したい。

議員 教育現場においても、本市の名産品、特産品について、実際に製造や作製の機会に触れる体験など、子どもたちの本市への愛着を育むような取り組みが重要と考えるがどうか。

教育長 コロナ禍の前は、多くの小学校において、本市の名産品、特産品の製造、作製の現場を直接体験しており、大変貴重な経験であると考える。今後は、体験的な活動を重視し、本市へのさらなる愛着につながるように努めたい。

議員 茶業振興センターは、茶業の振興につながる運営ができているのか。また、運営方法を含む今後の活用について検討すべきではないか。

商工農水部長 製茶機械や茶成分分析機を農業者が利用するほか、市民向けに見学等の場を提供している。市民に魅力のある施設としての機能が発揮されるよう、新たな手法も含めて運営方法を検討していきたい。



茶業振興センターのさらなる活用が求められる



交通安全

子どもを巻き込む事故を起こさないために



新風創志会
平野 貴之

議員 交通事故防止のためには、道路整備やドライバーへの注意喚起はもちろん、歩行者や自転車に乗る人が事故回避のための注意力を身に付けることも重要である。関東地方を中心に行うバスの死角体験プログラムでは、参加者が実際にバスの運転席に座って死角を体感できる取り組みを行っている。また、滋賀県日野町では、未就学児が、キックバイク(※)を用いた遊びを通じて、バランス感覚を養いながら事故回避能力を高める取り組みを行っている。これらの取り組みを本市でも導入してはどうか。

都市整備部長 バスを利用した死角体験については、交通安全親子教室などのイベントにおいて実施を検討していきたい。

こども未来部長 本市の幼稚園、こども園、保育園では、キックボードや三輪車などの乗り物を使い、年齢や発達の特性も考慮して、遊びの中で安全な乗り方を指導している。今後も四日市市交通安全協議会が行う交通安全教室等も活用しながら日々の保育の中で遊びを通して交通

安全教育を進めていきたい。

議員 大人に対する自転車の乗り方の啓発も実施していくべきと考えるがどうか。

都市整備部長 大人への啓発については、広報よっかいちに特集記事を掲載するほか、交通安全教室などで保護者や企業にも指導を行っており、四日市市交通安全協議会のホームページで動画による啓発も予定している。



キックバイクを使用した未就学児向けの自転車教室

※ 自転車のようにながらって乗り、足で地面を蹴って進む、ペダルのない幼児用の二輪遊具



市政運営 「新たな挑戦ができるまち四日市」を発信せよ



新風創志会
谷口 周司



議員 市長が先の所信表明の最後に述べた「四日市市には挑戦できる土壌がある」とは、果たして本当か。この言葉の根拠を確認したい。

政策推進部長 総合計画におけるまちづくりの理念を踏まえ、無から有を生み出してきた原動力をオール四日市で結集していくという思いが込められている。行政・民間を問わず、新たな取り組みを始めることができる潜在的な力や環境を備えたまちであることを表現している。各分野での民間の新たな挑戦を本市が支援したり、官民協働で新たな価値を生み出すような施策を推進していくことを「挑戦」と捉えている。

議員 民間の多くの挑戦をしっかりと受け入れていくためには、本市が受入体制を整える必要

がある。その気概が本当にあるのか。

政策推進部長 新たな挑戦を始めようとする意欲的な人材や企業を呼び込めるように、本市の前向きな姿勢をしっかりと情報発信していく。

議員 市長自らが、思いを各分野で挑戦しようとするすべての人に届けるため、積極的に情報発信する必要がある。市長の思いを確認したい。

市長 本市には、産業都市として経済を牽引してきた歴史や安定した経済体制があり、新たな投資や挑戦が生まれる潜在的な能力が備わっている。本市が挑戦し、民間と力を合わせて「成功のまちづくり」を実現したい。

議員 挑戦できるまち四日市として、全国や世界に本市の存在感をアピールしてほしい。

教育 学校指定物品の価格差は是正されたのか



新風創志会
諸岡 寛



議員 昨年度、小・中学校における学校指定物品の学校間の価格差は是正を訴え、教育委員会からは「学校間で価格差がある現状を保護者に通知すること」「新規業者の参入などにより、価格差の是正に取り組むこと」「その結果を保護者に伝えること」が示された。その後の取り組み状況はどうか。

副教育長 低価格を求める方や品質を求める方など、保護者の要望は多様化しているが、選択肢として低価格の物品を増やすことも必要と考え、令和3年度には学校指定物品検討委員会を各校に設置し、保護者等学校関係者とともに指定物品の検討を進めた。その結果、制服やジャージの最低価格を引き下げ、学校間の価格差も抑

えることができた。引き続き、PTAの会議や学校通信等で保護者に情報提供するとともに、全校の価格一覧表を各学校に提供する。また、令和4年度から新たに導入する保護者連絡アプリや学校評価アンケートなどを活用して保護者の意見収集に、さらに努めたい。

議員 最低価格を大幅に引き下げること成功した学校がある一方で、昨年度よりも値上がりしている学校もある。また、新規業者が参入した学校では競争原理が働き、最低価格を引き下げること成功している。本来は、どの学校でも同じ金額であるべきであり、今後もより良い子育て環境の実現を目指し、可能な限り格差は正に取り組んでほしい。

子どもの貧困 子どもの貧困に支援を届けるための情報発信を



フューチャー四日市
後藤 純子



議員 本市は、今年度から新型コロナ・子ども緊急支援プロジェクト補助事業を始め、経済的・心理的に厳しい環境に置かれ困難を抱える子どもや家族への支援活動に対し補助金を交付している。これにより、子ども食堂やフードパントリー(※)を行う団体が増えることはとても大切だが、これらの活動を、支援が必要な家庭をはじめ市民に知ってもらう必要がある。東京都足立区のように、子ども食堂とフードパントリーのマップを作り、活動場所や活動内容を紹介してはどうか。また、これらを市の公式LINE(ライン)で情報を発信してはどうか。

こども未来部長 コロナ禍により子育てを取り巻く環境は厳しさを増す中、子ども食堂やフー

ドパントリーの取り組みが、支援を必要とする人に確実に届くことは何より重要である。足立区のようなマップで周知したり、子育て世代が使い慣れたLINEなどのアプリケーションを活用することも、情報にアクセスしやすくするための有効な手段である。そのため、支援団体の活動地域や活動内容などの情報を分かりやすくまとめたものを作成するなど効果的な周知方法の検討を進める。

議員 子どもやその家族に貧困の自覚がなく自ら支援を求めない状況や、自覚があっても周囲の目を気にして支援を求めない状況もあり、子どもの貧困は見えにくい。支援が必要な家庭に手を差し伸べることができる施策を求めたい。

※ ひとり親家庭や生活困窮者など、何らかの理由で十分な食事を取ることができない人に無料で食料を提供する活動

中心市街地

中央通り再編事業に関連して



フューチャー四日市
加納 康樹

議員 中央通り再編計画に示す、スケートボードパークの整備とは、どのような規模を想定しているのか。また、本市は、禁止区域でのスケートボード利用に対し、現在指導を行っているが、パークの完成までの間、スケートボードを楽しむスペースを示すことも必要ではないか。

都市整備部長 検討段階であるが、国道1号との交差点付近にある約900㎡のくすのき並木空間を候補地に、まずは今年秋ごろに行う社会実験の一つとして試験的にスケートボードパークを設置する方向で進めている。社会実験の結果も踏まえ、新たな交流や価値を生み出す空間の提供について検討を進めていく。

スポーツ・国体推進部長 民間等の施設を紹介しており、競技施設整備は課題を整理しつつ他施設との優先順位を踏まえ可能性を検討したい。

議員 YOKKAICHIと表記したモニュメントを市役所前に設置する案は中途半端である。四日市映えする所に設置すべきではないか。

都市整備部長 現時点で何をどこに配置するの

か決まっていないが、今後、空間の使い方とともにデザインしていく中で検討したい。

議員 JR四日市駅前の稲葉三右衛門像について、功績を市民や来訪者に知ってもらうため、功績を示した銘板の設置などができないか。

都市整備部長 市民や来訪者にとって港町四日市の象徴的な存在として親しめるよう、功績の説明版の設置も含めて検討していく。



中央通りのオープンスペースの使われ方（イメージ）



公共施設

住民への説明責任を果たし施設をマネジメントせよ



フューチャー四日市
竹野 兼主

議員 本市では、必要な行政サービスを持続的に提供するため、公共施設マネジメントに関する基本方針を策定した。これによりこれまで事前に修繕を行い長寿命化してきた身近な公共施設が、状況により取り壊される可能性がある。この基本方針はどのような経緯で策定したのか。また、市民へどのように説明しているのか。

財政経営部長 今後、公共施設が一斉に更新時期を迎え、建物の維持更新の経費は現在の年間約60億円から、20年後には約140億円となる想定である。必要な行政サービスの持続的な提供のために公共施設の適正化を進めてきたが、さらなる推進に向けて、令和元年度に公共施設マネジメントに関する基本方針を策定し、基本的な方針や具体的な手法をとりまとめた。市民への周知については、広報よっかいちへの掲載、ホームページでの公表のほか、今年3月に、市民を対象とした講演会の開催を予定している。

議員 今後、適正化を進めていくには、地域住民の不安を取り除く努力が重要と考えるが、ど

のように説明責任を果たしていくのか。

財政経営部長 適正化の目的や必要性を、利用者、関係者、市民に周知することが重要と考える。今後も丁寧な説明に努めていきたい。

議員 避難場所として活用できる施設も適正化の対象だが、慎重な検討が必要ではないか。

館副市長 日常的な活用が必要であり、他用途での活用の可能性も含め、全庁的に議論する。



廃止の方向性が示されている補防災会館



市民協働

市民との協働で豊かな四日市を目指す



フューチャー四日市
小田あけみ



議員 本市ではさまざまな市民協働事業が行われているが、委託による市民協働事業を行う団体からは、毎年委託事業を採択してもらうための事業計画等の資料作成が大きな負担となっているとの声を聞く。複数年契約とすることで市民活動団体の負担軽減を図るべきではないか。

市民文化部長 より多くの市民活動団体に対して広く門戸を開き、新規の団体やチャレンジしたい団体などから多様な事業提案をいただくため、複数年での契約とはしていない。事業計画の簡略化など負担軽減を図り、積極的に事業提案できる環境づくりを進めていきたい。

議員 市民活動団体が活動を継続するためには、財政的支援や経営的な視点を持つ人材の育

※ 職業上の知識やスキルを生かして社会貢献する活動

成支援が不可欠と考える。市民活動団体の持続可能性という観点から、支援のあり方について市の考えを確認したい。

市民文化部長 市民活動センターでの資金調達に関する情報提供や相談受付、プロボノ（※）活動支援などを多角的に組み合わせることで、持続可能な活動が実現できるよう、市民活動団体と協力して取り組んでいきたい。また、引き続き地域づくりマイスター養成講座を開催し、マネジメント人材の育成にも取り組んでいく。

議員 人口減少が進む中、地域を豊かで安全なものにしていくには、市民活動団体との協働が不可欠である。高い志を持って活動している方々のためにも、きめ細かく支援してほしい。

新型コロナウイルス

知恵を出し合いコロナ禍の懸念と憂いを払拭しよう



市民eyes
土井 数馬



議員 コロナ禍が長引く中、これまで経験したことのない行動が日常となりつつあるが、「コロナ禍だから」と多くの活動やイベントが中止・規模縮小となることが当たり前のように懸念や憂いを感じている。社会や地域、住民の連携・つながり・絆が失われることのないように、本市はどのように取り組む覚悟があるのか。地域活動や自治会活動、学校行事、大四日市まつりや花火大会などの市イベントに関する今後の実施に向けた考え方を確認したい。

市民文化部長 地域のつながりの希薄化や地域活動に興味を持つ機会が失われることを懸念する。地域活動が停滞しないように積極的な情報の発信と共有を行い、引き続き支援を進める。

教育長 学校行事は、子どもたちはもちろん、保護者や地域にとっても重要な教育活動である。学校行事の持つ意義、重要性を再認識するとともに、より良い学校行事を実施していく。シティプロモーション部長 感染状況に応じ、さまざまな手法でイベントが開催できるよう知恵を絞り、積極的に取り組んでいく。

館副市長 「今年こそ開催したい」と願う多くの活動の担い手や市民の声に応え、支援することが市全体を盛り上げていく。社会の絆を強める活動が絶えることのないよう各方面で取り組む。

議員 地域イベントを映像で発信するため、市が補助金を出すことを提案したい。知恵を出し合い、懸念や憂いの払拭に向け努力してほしい。

ワクチン接種

子どもたちの命を守る正確な情報提供を



市民eyes
伊藤 昌志



議員 5歳から11歳の新型コロナウイルスワクチン接種について、努力義務（※）としない決定を国は行ったが、本市の接種案内は、その理由や接種のメリット・デメリット等の情報が分かりにくく適切に判断できない。市ホームページには、オミクロン株への効果など国の情報さえ的確に掲載していない。国の指示に従うだけでなく、保健所設置市として独自策はないのか。

政策推進部長 本市は、かかりつけの小児科医の協力の下、本人や保護者が接種の必要性や副反応などの説明を受けた上で可否を判断し、接種できる体制を構築している。県と連携し、正確な情報を伝えながら、不安解消に取り組む。

議員 市から接種券が届けば、安易に接種して

しまうことを危惧する。接種券を同封せずに接種を申込制とし、根拠に基づいてメリット・デメリットを示せば、かかりつけ医に相談した上で接種の可否を適切に判断できる。最善の策を講じるのが自治体の役割ではないか。

政策推進部長 自治体の責任としてすべきことは、接種したい人が安全に接種できる体制の確保と、国からの情報を正確に発信することである。市ホームページについても、より分かりやすい内容を市民に提供できるようにしていく。

議員 5歳から11歳への接種は極めて慎重であるべきと考える。市ホームページの見直しを求めるとともに、国のデータ、情報をしっかり仕入れ、正確に発信してほしい。

※ 「保護者は接種を受けさせるため必要な措置を講ずるよう努めなければならない」という予防接種法の規定

人事・福祉

市民により良いサービスを提供するために



政友クラブ
笹井 絹予



議員 ITツールを導入しただけでは働き方改革は進まない。デジタル化により仕事を削減し、その分より良いサービスを提供できる体制をつくり上げなければならない。本市はスマート自治体を目指しているが、DX（※1）を推進することで市役所の働き方改革を推進し、さらに、民間企業を含め、市民へもその効果を波及させるべきではないか。また、賃金の面からも労働環境の改善を進めるべきではないか。

総務部長 本市はスマート自治体の実現を総合計画に掲げ、行政手続きのオンライン化などを進めている。また、働き方改革推進本部を設置し、デジタル技術の導入による業務適正化等を進めており、今年度はテレワークが可能な環境

※1 デジタルトランスフォーメーション。進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること
※2 全国社会福祉協議会が提案した、ボランティアと利用者が主体となり地域でお互いにつながりを持つ場所を作るための活動

を整備した。令和4年度は働き方改革推進室の設置や、デジタル技術の横展開に加え、デジタル人材の育成計画を策定したい。次に、本市のパートタイムの会計年度任用職員の時給は、最低賃金や民間企業の状況等から適正な単価を決定しており、令和4年度は増額を予定している。

議員 ふれあいいきいきサロン（※2）を支援するため、感染対策物品の支給や補助金の増額を求めていたが、その後の進捗はどうか。

健康福祉部長 感染対策物品の支給拡充を進めている。また、活動内容に応じて補助金を加算する仕組みがあり、これは情勢に応じて見直している。補助金の全体的な底上げの必要性については、実態把握も含めて検討していく。

医療

転院搬送のあり方について



政友クラブ
伊藤 嗣也



議員 緊急時に確実に救急車を投入するため、国は転院搬送（※1）における救急車の適正利用を推進している。本市でも転院搬送を行う際、要領があるが、医療機関が転院搬送を依頼する際の提出書類が約4割も未提出なのはなぜか。

消防長 緊急処置等で提出が不要な場合を除き、一部の転院搬送で要領に基づいて運用していなかった。今後は要領に基づいた運用に取り組む。

議員 転院搬送における救急車の適正利用に向け状況把握と情報共有を求める。次に、本市は、患者等搬送事業者（※2）を転院搬送に活用するための要綱で、乗務員を原則2名とする国基準を1名に減らし、あえて国基準を緩和している。運転手1名では搬送患者に何かあった場合

に対応できない。患者の安全が第一ではないか。

消防長 市の要綱は、平成26年に国基準と他市事例を参考に改正したが、現在の運用状況を踏まえ、国に準ずるように見直す。

議員 転院搬送には転院先の病院救急車等を活用するという国からの通知にもかかわらず、患者が元の回復期の病院に戻る場合にその病院救急車を依頼していないが、対応状況はどうか。

病院事業副管理者 通知の趣旨は理解しており、緊急性がない場合、地域連携・医療相談センター「サルビア」が患者の相談に応じ、患者等搬送事業者などの搬送手段を案内している。

議員 部局間で連携を密にし、市民が必要な時に救急車を利用できるよう適切な対応を求める。

※1 傷病者を現在収容している医療機関から他の医療機関へ搬送すること
※2 患者の搬送のために必要な設備や構造を備えた自動車を使用し、病院への入退院や転院、通院などの際に患者を搬送する事業者

図書館

誰もが読書に親しめるように電子図書館の検討を



政友クラブ
荻須 智之



議員 図書館で電子書籍を貸し出す電子図書館は、コロナ禍の影響もあり、導入する自治体が増加している。インターネットに接続する端末から場所や時間にとらわれずに利用できるなど、電子書籍ならではのメリットがある一方で、導入には多額の予算が必要である。電子図書館導入についての本市の考えはどうか。

副教育長 新図書館整備を進める上で、電子図書館の導入は検討すべき事項の一つと考える。電子書籍は場所や時間に縛られずに利用でき、音声の読み上げや文字サイズの変更、文書内検索機能、翻訳機能などが利用できることから、障害の有無にかかわらず、すべての方に読書の楽しみを広げることができる。また、紛失や汚

損、破損等のリスクがなく、貸出・返却に係る職員の負担も減るなど、維持管理面でもメリットがある。一方、現時点では電子書籍のコンテンツは紙書籍と比べて圧倒的に少なく、単価も高いことから、電子図書館を導入、維持していくための費用の確保が課題である。また、人々の知る権利と学ぶ権利を保障するためにはデジタルデバインド（※）が発生しないように配慮する必要がある。紙書籍と電子書籍それぞれの機能的役割を踏まえた上で、市民の多様なニーズに応えるべく、検討していく。

議員 本市と同格の自治体でも導入事例が増えている。デジタルデバインド解消のために、タブレット端末の貸し出しも検討してほしい。

※ インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差

道路

三重橋垂坂線の整備を進め、土地利用を促進せよ



政友クラブ
森 康哲

議員 市道三重橋垂坂線の整備に向けて、JR関西本線との立体交差や国道23号との接続方法について、関係機関との協議を進めているとのことだが、現在の状況はどうか。また、同路線が通る羽津古新田には、本市が所有する土地が点在しているほか、産業廃棄物が放置されている民間の土地もあるが、これらの土地の活用方法や今後の課題について確認する。

都市整備部長 三重橋垂坂線の新開橋から国道23号の区間については、津波リスクも考慮してJR関西本線の上を立体交差し、国道23号に平面接続する方法に変更した。検討に当たっては、国土交通省や公安委員会、JR東海と協議を重ね、いずれも応諾の回答を得ており、現在都市計画変更の手続きを進めている。今後は、用地確保や土地利用、地権者の意向などの課題が想定されるが、三重橋垂坂線の整備に向けて取り組んでいく。市所有地については、民間事業者の動向や地権者の意向も踏まえ、まとめて活用を図るのか一括売却するかを判断したい。

環境部長 産業廃棄物事案については、事業者が廃棄物を残したまま破産したものであり、県と連携し、開発事業者や地元関係者も含めて協議するなど、適切に対応していきたい。

議員 今年は生産緑地更新の節目の年であり、羽津古新田の土地利用の転換が大きく進むことも考えられる。さらなる利便性向上に向け、野球場や鉄道駅等の整備も検討してほしい。



市道三重橋垂坂線と国道23号の接続のイメージ



人口

人口減少を食い止める意気込みはあるのか



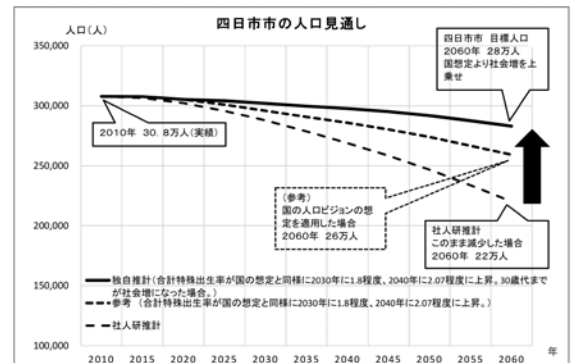
青雲会
森川 慎

議員 本市の人口は減少傾向であり、直近で年間1522人の減少と、過去最大の減少幅となった。四日市市人口ビジョンでは2030年の合計特殊出生率（※1）の目標を1.8とし、2020年以降は毎年600人の社会増（※2）を見込んでいるが、この合計特殊出生率は、人口減少対策に積極的なフランスなどの国が多く予算を割いてようやく達成できる水準である。達成不可能に思えるが、適正な目標値に改めるべきではないか。

政策推進部長 本市の人口ビジョンで想定している合計特殊出生率は、平成27年に策定された国の長期ビジョンの数値に合わせている。総合計画の将来都市像の一つに子育て・教育安心都市を掲げており、経済的負担等から子どもを持つことを希望する人が出産を諦めることのないよう施策を進めていく。また、多様な都市機能が集積する本市の魅力さをさらに向上させることで毎年600人の社会増も可能と考える。人口ビジョンは2060年までの長期的な視点での人口推移と展望を描いており、直近の国勢調査の結果

とも大きな乖離はないことから見直す必要性はないと考えている。人口減少傾向を少しでも緩やかにできるように今後も各種施策を進める。

議員 形だけ取り繕っているだけで、実態が伴っていないのではないかと。人口問題は都市経営の重要な観点であり、不都合な現実から目をそらさず、問題を正面から受け止めて真剣に取り組まなければならない。



四日市市人口ビジョンに示された人口見直し

※1 一人の女性が15～49歳の間に生む子の数の平均
 ※2 転入、転出によって生じる人口の増減をそれぞれ社会増、社会減という



人事 本市の人事考課制度と看護休暇制度を問う



政友クラブ
中村 久雄



議員 本市では、課長職以上に行っていた目標達成型の人事考課を、平成28年度から一般職員にまで対象を広げて実施しているが、その成果と、課題への取り組み状況を確認したい。

総務部長 成果は、面談を通じて上司と部下が十分な意思疎通を図ることができる点や、組織目標を部下が意識できる点などがある。また、統一的な基準での部下への評価が難しいという課題に対し、評価のスキルアップのために、所属長に加えて係長級への研修も実施している。

議員 市職員が取得する看護休暇（※）について、その対象となる「子」の範囲は、実子と養子縁組をした子であり、養育里親の子には認められていない。里親は里子の親として、里子に

とっても里親は親として、愛情が感じられるように過ごすことが肝要である。養育里親であっても子の権利は守られるべきと考えるがどうか。

総務部長 本市の看護休暇における「子」の範囲は、現在、里親制度にあるすべての里親に委託された子を対象としておらず、国と同様に、養子縁組を前提とした里親と里子の関係に限定している。しかしながら、子育て世帯が働きやすい勤務環境の整備は重要であり、今後の国の状況や他市事例を参考に検討していく。

市長 実態に即した制度にしていかなければならない。しっかりと見直しを検討していく。

議員 里親を支えるのが行政である。里親制度の社会的認知を高めていくことも大事である。

※ 小学校就学前の子の看護を行うため勤務しないことが相当と認められる場合、1年度につき5日以内で取得できる

採用 館副市長の採用問題



政友クラブ
小川 政人



議員 館副市長の採用について、本市に帰って来てから就職先を決めて、誰かが有力元市議会議員に頼んだ可能性と、もう一つは、東京在任時に四日市の人に誘われ、その時に就職を決めていた可能性が考えられるが、どちらが本当なのか。

館副市長 事実関係を述べると、私は昭和60年に地域振興整備公団に採用され、平成元年3月31日まで勤めた。そして、平成元年4月1日から本市に採用されたが、採用試験では選考という方法で面接を受け、小論文を提出した。

議員 選考試験の制度に文句があるわけではないが、事実関係を見れば、館副市長は本市からスカウトされており、選考試験により採用され

たという説明は事実でないと思う。

館副市長 採用前のことであり、市役所内部でこういった選考が行われて採用に至ったのか、その経緯は知らない。本市に採用されるまでの4年間の実務経験を職歴として換算した給与条件で採用されたが、議員が指摘するような役職等を私から求めたことは一切ない。当時の決裁文書によれば、本市は都市整備に携わる人材を求めており、その時期に私が本市で働きたいという意向を示し、選考試験で面接と小論文を経て採用に至ったのが事実である。

議員 館副市長の経歴から考えて、採用時の役職が技師補というのはおかしい。選考試験には当てはまらないと思う。

議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

5月開会議会			6月定例会月議会		
月	日	内容	月	日	内容
5	17(火)	本会議 開会 (会期の決定 など)	6	6(月)	本会議 初日(議案説明 ほか)
	18(水)	本会議 (議会役員の選出 など)		13(月)～ 16(木)	本会議(一般質問)
議長・副議長の選挙をはじめ、各種委員の選任などを予定しています。				17(金)	本会議(一般質問、質疑・委員会付託 ほか)
				20(月)	各常任委員会／予算分科会 *予備日は21(火)
				24(金)	予算常任委員会全体会 *予備日は27(月)
				30(木)	本会議 最終日(委員長報告・採決 ほか)

※一般質問の様様をCTY122ch(サブチャンネル)で放送する予定です。
 ※本会議と常任委員会の様様は市議会のホームページで生中継し、録画中継もご覧いただけます。
 ※委員会は審査の進み具合により、予定より早く終了する場合があります。

定例月議会の報告と意見交換を行いました ～11月定例月議会 議会報告会～

12月27日に常任委員会合同による議会報告会を開催し、第1部は11月定例月議会の審査の報告、第2部は市政全般について意見交換を行いました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動や市政発展への参考とさせていただきます。

◆会場での主な内容を要約してご紹介します。
詳しくはホームページへ→



〈議会報告会〉

各地区での防災訓練について

Q コロナ禍の影響で地区の防災訓練が規模の縮小や中止となり、今後を懸念する。コロナ収束後も訓練が引き続き行われるよう担当部局に働き掛けてほしい。

A 市が各地区と協力して防災対策を強化していくように、市議会から担当部局に働き掛けたい。

プレミアム付デジタル商品券「よんデジ券」について

Q 利用者や個人事業主がスマートフォンに慣れていない人や高齢者の場合、使いづらいものになってしまうことを心配している。

A 利用者への説明会を随時開催し、できるだけ市がフォローしていくことを担当部局から確認している。

A 事業者は、新たな機器設置の必要はなく、QRコードを読み取るだけで、ほとんど負担はないと聞く。

〈シティ・ミーティング〉

地区市民センターについて

Q 各地区市民センターからもっと積極的に情報発信を行い、市民に分かりやすくPRするなど、地区市民センターが役割を果たすように注力してほしい。

A 地区市民センターでの人員を削減する中、分かりやすく充実した情報発信がどのような方法でできるのか、市議会として考えていきたい。

新図書館建設について

Q 新図書館の建設は、多くの市民が注目している。建設や運営に当たっては、地元のマンパワーを生かしてほしい。

A 現在、コンサルタントに委託して建設に関する基本計画の策定を進めている。事業者との協議状況や方向性について今後市長から説明を受ける予定である。

6月定例月議会の議会報告会（予定）

6月定例月議会の議会報告会を7月4日に開催します。

今回は、常任委員会が合同して一つの会場で行います。事前申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

※新型コロナウイルス感染症の状況や天候等により、中止や開催方法の変更をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第1部：議会報告会	第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）
日時	令和4年7月4日（月） 18：30～20：45
会場	総合会館 8階 視聴覚室（四日市市諏訪町2番2号）
シティ・ミーティングテーマ	四日市市政全般について

※会場でのやりとりを基本としてご意見をいただきます。 ※手話通訳いたします（事前予約は不要です）。

※状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性があります。

※開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めとさせていただきます。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやSNSでお知らせいたします。

決 議

3月11日に本会議を開会し、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議を全会一致で可決しました。決議の内容は以下のとおりです。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻を非難する決議

四日市市議会は、2月24日から始まったロシア軍によるウクライナ侵攻を強く非難する。

今回の暴挙は、国際平和や安全を著しく脅かす行為であり、断じて容認できない。一方的な武力による条約に反した侵略・核の使用をほめかす行為は国際秩序の根幹を揺るがしており、決して許されるものではない。

四日市市議会は、世界の恒久平和に向け、即時の攻撃停止と部隊の撤収、国際法を遵守した誠意ある対応を強く求める。

以上、ここに決議する。

令和4年3月11日

四日市市議会



意 見 書

- ◆四日市市の“就学前教育の再生”に関する、市長への意見書
- ◆中華人民共和国による人権状況に対する調査及び対応を求める意見書（提出先：内閣総理大臣 ほか）

人 事 案 件

- 固定資産評価審査委員会委員
市川 友加里（再任） 住所：元新町
- 人権擁護委員
藤本 俊幸（再任） 住所：東日野町

議員研修会を開催

1月21日に「緊急事態・非常事態の議会・議員対応の在り方」をテーマに、講師（同志社大学名誉教授の新川達郎氏）と本会議場をオンラインでつないで議員研修会を行いました。

議員説明会を開催

1月21日に「組織・機構の見直し」、「新図書館整備に向けた検討・協議」、「年度途中の待機児童・育休退園の解消等に向けた取組み」、「公立幼稚園の第2次適正化計画の進捗状況」について、行政側から説明を受けました。

市議会文化祭を開催

2月9日から3月24日まで市役所10階のラウンジで作品展を開催し、議員による書道や陶器などの作品を展示しました。



ハラスメントの防止等に関する条例を制定しました

四日市市議会では、議員間または議員と職員との間におけるハラスメントの防止および排除のために必要な事項を定め、市民から信頼される品格ある議会の実現に資することを目的として、「四日市市議会ハラスメントの防止等に関する条例」を議員提案により制定しました。3月24日の本会議において全会一致で可決しました。

あとがき

1年間皆さんに市議会の取り組みをお知らせしてきましたが、次号から広報広聴委員会は新しいメンバーに変わります。高校生との紙面づくりなど、皆さんに興味を持っていただける内容となるように努めてまいりましたが、いかがでしたか。今後の編集の参考とするため、ご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。今後も「よっかいち市議会だより」をご愛読いただきますようお願いいたします。

広報広聴委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎樋口 博己 ○樋口 龍馬 伊藤 昌志 荻須 智之 小田あけみ
谷口 周司 豊田 祥司 豊田 政典 森 智子



四日市市議会 × 高校生

共学化で切磋琢磨 海星高校 フェンシング部

四日市市議会では、高校生との関わりを積極的に進めています。その中で、令和2年度から市内の高校生とコラボして議会だよりの表紙をデザインする企画を行っています。3回目となる今回は、令和3年度から男女共学になった海星高校の伝統あるフェンシング部にお伺いして、選手の皆さんや顧問の先生にお話をお聞きしました。

ーフェンシング部の活動について教えてください。

A 部員は男女合わせて35名。平日の放課後、土曜日の午前中に練習しています。インターハイに出場し、上位入賞することを目標にしています。



ーフェンシングを始めたきっかけは何ですか。

A 監督に熱心に誘ってもらい、高校から始めました。入部してよかったです。

A 友達に誘われて小学3年生から始めました。海星高校が男女共学になり入学を決めました。

ーフェンシングの魅力を教えてください。

A ライバルに試合で勝った時、特に技が決まった瞬間は嬉しさがこみ上げてきます。

A 諦めず頑張る力を身につけたいと思います。

ー男女共学になり部活動に変化はありましたか。

A 雰囲気により明るくなりました。試合の時はお互いに応援し、刺激し合っ部活に励んでいます。



ー学校生活での変化はどうですか。

A 食堂のメニューが大きく変わり、女子向けにミニサイズやパスタが選べるようになりました。

ー四日市のまちにどんなイメージがありますか。

A 近鉄四日市駅前人が多く、都会だと感じます。人口が多く多様性があるので、いろいろな人と関わることができるまちだと思います。



ー市議会議員にどんなイメージがありますか。

A 会ったことがなく、何をしているかあまり分かりません。あまり親しみを感じていません。

ー将来なりたい職業はありますか。

A 商品開発に関わる職業に就きたいです。

A 理学療法士など、スポーツに関わる仕事をしたいです。

ーなかなか政治家という職業は出てきませんね。市議会議員は、皆さんの身近なことについて、行政と一緒によりよいまちを目指していく、やりがいのある仕事です。なりたい職業の一つとして、考えてもらえると嬉しいです。

伝統校の迫力とフェンシングを楽しむ姿が印象的でした。男女共学でさらにパワーアップした皆さんの活躍を応援しています。海星高校フェンシング部の皆さん、ありがとうございました！

議会情報がLINEで受け取れます！

議会日程や議会報告会の開催など、さまざまな情報を発信しています。

ぜひ登録をお願いします。



【LINEの配信登録】

1. QRコードを読み取り、友だち登録してください。
2. トーク画面を開き、「受信設定」をタップしてください。
3. 表示される項目から「市議会情報」を選択してください。

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

四日市市議会事務局

Tel059-354-8340 Fax059-354-8304

Eメールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ 四日市市議会 検索

発行／四日市市議会

編集／広報広聴委員会 四日市市諏訪町1番5号

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

「よっかいち市議会だより」は、環境にやさしいペタフルインキを使用しています。